

地域との共存 日本での実習を通じて経験したこと

技能実習監理団体 石川県漁業協同組合（本所：石川県金沢市、他県内27支所）

取組み事例①

カレンダー・DVD制作活動

コロナ禍で地域活動が中止となっている中、いか釣り漁業実習生35人が母国インドネシアの家族へ元気を届けるために自分の故郷の絵を描いたインドネシアのカレンダーを作成。各自がインドネシアの家族にスマホで送り元気を届けるメッセージ活動を実施。17年間続けてきた音楽バンド（チュミ・ボーイズ）も地域施設等への慰問活動ができないため、「インドネシアがんばれ」と題したインドネシアの歌を収録したDVDを製作中。



食糧支援（スンバコ）を頂いた在日インドネシア大使館にもお礼としてカレンダーをプレゼント

取組み事例②

「想像と現実」～県内スピーチコンテストに出場～

県内の外国人在住者を対象とした日本語スピーチコンテストの出場枠8名に定置漁業実習生1名が選出。「想像と現実」という演題で、実習生として選ばれた時の喜びと日本に来るまでに描いていた日本への空想と実際に石川県珠洲市での生活が始まり気づいた時の大きな違いについて発表。受入れ先の船主によるサポートや、宿舎で生活を共にする実習生全員からの推薦による出場ということもあり、入賞できたことは本人とそれに関わった人たちにとっても大きな誇りとなった。



見事入賞を果たした
AGUS SETIYANOさん



ユーモアある優しい語り口で
スピーチを披露